

寄贈品コーナー「日本産アゲハチョウ属幼生期のすべて」

2025年 会期：10月2日（木）～11月3日（月・祝）

チョウの幼虫“いもむし”。4回の脱皮を経て、さなぎ、成虫へと成長していきます。幼虫は卵から孵化した時を1令、脱皮をするごとに、2令、3令と大きくなっていき、5令のあとさなぎになります。幼虫は成長する度に少しずつ色や模様が変わりますが、一般の図鑑で扱われるのはその一部のみです。

市内に住む深澤美佳さんは、自宅（普通のマンション！）で日本に生息するアゲハチョウ属 11 種（とその亜種）を卵から育て、すべての成長段階を記録し、幼生期の詳細な図鑑を出版しました。今回の展示では深澤さんの協力を得て、アゲハチョウ属の種類の形態を写真でたっぷり紹介します。



▲アゲハ（ナミアゲハ）
2令幼虫



▲4令幼虫



▲5令幼虫



▲深澤美佳著
『日本産アゲハチョウ属
Papilio 幼生期のすべて』